

## 「剛志の歌」を 地域の人みんなで！

伊勢崎市のコミュニティースクール設置に伴い、境剛志地区では昨年度境西中で四回の学校運営協議会が開催されました。ねらいは、学校と地域や保護者の方々がともに知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」をすすめることです。その時の話題に『「剛志の歌」を復活させてほしい。』という内容がありました。「剛志の歌」というのは、昭和3年当時第8代剛志尋常高等小学校長だった栗原氏が、仲介を得て作詞家時雨音羽、作曲家中山晋平の両氏に依頼し、完成した曲です。校歌の作曲をお願いしたようですが、村歌として村の人がみんなで歌えるような曲になったようです。当時は、剛志地区の小中学生みんなの愛唱歌になっており、子どもたちのおじいちゃんおばあちゃんの世代の方の中には、ご存知の方もいらっしゃるようです。コミュニティースクール設置を機に、境剛志小では、この「剛志の歌」をマーチングで復活させ、行事等で地域の人みなさんに紹介し、「地域とともにある学校づくり」を進めたいと思っています。ご協力、よろしくお願いいたします。

時雨音羽 詞  
中山晋平 曲

### 剛志の歌

- 一 群馬の南 大利根の  
流れはるかに 晴れわたり  
岸の草ぐさ 咲き出でて  
ありし昔の 声をきく
- 二 赤城は覚めて なだらかに  
慈愛の光 みちる頃  
桑園わたる 朝風に  
剛志の心 傳へゆく
- 三 廣瀬の流れ 絶え間なく  
うつる浅間の 夕けむり  
野山に力 みちみちて  
のびる若葉に そそぐ雨
- 四 繭の白さに 繰る糸の  
つきぬ力を あわせつ  
輝く空の 陽のごとく  
このふるさとを 護ろうよ



# 6月8日全校集会：「剛志の歌」の紹介！

境剛志小学校の誕生日を知っていますか？

境剛志小学校は、明治6年にできた小此木小学校と翌明治7年にできた武士小学校が合併して授業を始めたのがきっかけのようです。小此木小学校ができた明治6年11月20日が、境剛志小学校の誕生日ということになります。今から144年前のことです。つまり現在、境剛志小学校は、144歳ということになります。



境剛志小学校には、校歌があります。しかし、校歌は、学校ができたのと一緒にできたわけではありません。職員玄関の所に卒業記念の校歌の石碑があります。それを見ると、昭和39年と書かれています。つまりそれは、今から64年前です。

そして、実は校歌ができる前に境剛志小学校だけでなく、中学生や地域の人みんなが歌っていた歌があったそうです。それが「剛志の歌」というのだそうです。この「剛志の歌」ができたのは、昭和3年のことだそうです。つまり校歌のできる昭和39年までの36年間、剛志の地域に住む人は、みんな「剛志の歌」を口ずさんで育ったのだそうです。校歌ができてからは、みんな「剛志の歌」は、歌わなくなってしまったので、今では、知っている人も少なくなっていました。皆さんの家のおじいちゃんやおばあちゃんが知っているかどうかという感じのようです。

この「剛志の歌」を、剛志に住んでいるみんなが歌う姿が見たいと願っている地域の方が、たくさんいるようです。校長先生は、今日、その「剛志の歌」をみんなに聴いてもらって、改めてみんなが住んでいる剛志という地域の素晴らしさやみんなのおじいちゃんやおばあちゃんが愛して大切にしてきたこの地域をみんなにも大切にしてほしいと思っています。そして、みんなの歌声をいつか地域の人に届けたいなあとと思っています。



この「剛志の歌」を、マーチングクラブの子どもたちが、「御嶽山ほたる祭り」の時に、地域に向けて発信しようとして準備してくれています。全校集会で先駆けて演奏してくれました。



左の写真は、普段校長室に飾ってあるオルゴールです。これは、剛志小学校を卒業された「剛志三八会」の方々が、「剛志の歌」を懐かしみ、皆さんで費用を出し合って作ったそうです。小学校へも一つ寄贈していただきました（平成25.2.12）。当時の校舎の写真も入っていて、とても貴重なものであると感じています。